

令和2(2020)年度入学試験問題出題のねらい・解答例 (学校推薦型選抜)

中村学園大学短期大学部〔幼児保育学科〕

【小論文】

〈出題のねらい〉

今年度の課題文は、児童文学作家ミハイル・エンデの作品の一場面の紹介を通して、子どもにとって大事な時間とは何かを提示するものである。課題文は平易な文章で内容理解自体は難しくない。逆説的な話のポイントをしっかりとらえ、著者が伝えようとしている本質をしっかりと読み取れたかを問い、その主旨を踏まえて自ら考え表現することを論述で求めた。各問でも記すが、テクニカルな手法で小論文に挑もうとする答案が見られたのは残念である。保育とは暗記やマニュアルで対応できる世界ではない。個々の対象に応じて、考え、接する力が求められることから、中等教育において思考力、表現力、判断力をしっかりと養っておいてほしい。

〈各設問の講評〉

設問一

課題文中の文脈に即して、正しい漢字を書きとる問題である。

正答並びに平成29年3月の音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表に基づく各文字の読みの取り扱い学校段階は以下の通りである。小学校は、学習指導要領の「学年別漢字配当表」の掲載学年も示す。

- | | | | | |
|-------|---|-------|----|-------|
| ①魔法： | 魔 | 中学校 | 法 | 小学校4年 |
| ②眺： | 眺 | 中学校 | | |
| ③浮： | 浮 | 中学校 | | |
| ④居心地： | 居 | 小学校5年 | 心地 | 中学校 |
| ⑤羨： | 羨 | 中学校 | | |

おおむね書けていたが、⑤は正答率が低かった。

設問二

わたしのセリフに、絵のすばらしさを「こりゃあ、だいけっさくだよ。」と表す場面があり、直後に誰にとってかが示されていることから、この箇所を指定字数で抜き出すのが正答である。傑作の意味を理解していれば正答できるが、最後の2段落から無理矢理抜き出そうとした解答も見られた。しっかりと内容を読み取ってほしい。また、本文中から抜き出すよう指示されているにもかかわらず、微妙に表現を変えた解答が見られた。指示をしっかりと読みとり記述する力は保育者にとって重要である。

正答例：ここにほんとはなにがかいてあるか、知っているもの(24字)

設問三

子どもの時間の持つ意味を、時間というキーワード無しに理解し読み取れるかという設問であり、やや難しかったようだ。課題文ではモーニの絵の描画過程を通じて、子どもにとって重要な絵を使った様々な展開過程と、真っ黒に塗り潰され一見評価が非常に低い描画の結果との対比を用いて、子どもの時間が持つ意味を私たちに示している。当設問では、子どもにとってプロセスが重要である一方、大人がプロセスを軽視した結果を重視しがちであることを指定字数で説明できれば正答とした。

正答例：大人は時間をかけたプロセスを無視した結果のみを重視するが、子どもにとっては結果に至るプロセスという時間の経過自体が重要であることを伝えようとしている。(75字)

設問四

試験時間の短縮を受け、論述部の制限字数はやや短くしたが、その分限られた字数で表現することが難しかったかもしれない。改行の多用でわずかに最低字数をクリアしたものは実質的な字数不足である。

課題文の主旨を受けた上で作文が展開できているかを中心に評価した。この話の本旨は、設問三の解答であり、それを受けた文章展開が求められる。最後の1、2文に文章の骨子が詰まっ

ており、その一部を元に話題を展開すればよい、というテクニカルな観点で執筆された文章が散見された。本文の主旨に沿った話題やキーワードの展開が望まれる。

一部に見られた、課題文を受けての論理展開と直接対応しない、過去問で練習した話題やキーワードの展開で乗り切ろうとする姿勢は、極めて残念である。小論文は与えられた課題文の読解力やそれを受けた文章表現力を評価する試験方法である。過去問での練習は出題の形式や難易度を見極めるためのものである。たまたま2年続けて保育に関する課題文を扱ったが、保育に関する知識を求めているわけではないことに留意が必要である。小論文試験の目的を踏まえた過去問活用をして欲しい。